

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2004-538477 (P2004-538477A)
 【公表日】平成 16 年 12 月 24 日 (2004.12.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-050
 【出願番号】特願 2003-520382 (P2003-520382)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/53 (2006.01)

A 6 1 K 49/00 (2006.01)

C 0 7 K 16/18 (2006.01)

G 0 1 N 33/577 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/53 D

A 6 1 K 49/00 Z

C 0 7 K 16/18

G 0 1 N 33/577 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 7 月 26 日 (2005.7.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

患者における臨床的および発症前アルツハイマー病の診断方法であって、

a) A の第 13 - 28 位の間に含まれるエピトープに特異的に結合する抗体、または、A ペプチドをその血中の結合、循環型から隔離し、中枢神経系および血漿中の可溶型および結合型 A のクリアランスを変更する抗体を、患者がアルツハイマー病の臨床的または発症前段階にある場合に患者の血液中の循環 A ペプチドのレベルを変更するのに有効な量で該抗体を該患者に投与し；

b) 投与後の 1 つの時間間隔での患者の血液中の A₄₀、A₄₂ のレベルまたは A₄₀ / A₄₂ 比率を測定し；次いで、

c) 患者の A₄₀、A₄₂ のレベルまたは A₄₀ / A₄₂ の比率をコントロール値と比較する（ここで、患者の A₄₀、A₄₂ のレベルまたは A₄₀ / A₄₂ の比率とコントロールレベルとの差異が、該患者をアルツハイマー病の発症前または臨床的段階にあると認定する）ことを含む方法。

【請求項 2】
 時間間隔が、1 週間以内である請求項 1 に記載の方法。
 【請求項 3】
 時間間隔が、24 時間以内または同等である請求項 1 に記載の方法。
 【請求項 4】
 時間間隔が、3 時間以内または同等である請求項 3 に記載の方法。
 【請求項 5】

抗体が、抗体 266 が特異的に結合する A のエピトープに特異的に結合する請求項 1 に記載の方法。